

## 特定外来生物

# ナガエツルノゲイトウ

『ナガエツルノゲイトウ』は、ヒユ科に属する南米原産の多年生草本植物で、水中から陸上まで幅広く生育します。

種子繁殖を行うとともに、茎の断片による栄養繁殖が極めて盛んで、成長も早いことから、急速に群落面積を拡大します。

このため、しばしば池や河川の水面を覆いつくし、在来植物を駆逐したり、水生生物の生育に影響を及ぼすとともに、水流阻害をもたらします。

いったん侵入すると、その駆除は極めて困難になることから、ミズヒマワリと同様に【地球上で最悪の侵略的植物!!】として恐れられ、外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）による「特定外来生物」に指定されており、栽培、運搬、販売や、野外に植えたり、種子を蒔いたりすることが禁止されています。



(平成 23 年 11 月撮影)

### 【防除上の留意点】

#### 1. 発見した場合直ちに駆除!!

繁殖力がすさまじく、すぐに重機が必要なほど繁茂してしまうおそれがあるので、早期発見、早期駆除が重要です

#### 2. 丁寧な回収!!

茎断片からの栄養繁殖が驚くほど旺盛なため、水域での駆除の際には、周囲に散らばった茎の断片を丁寧に回収する必要があります。

#### 3. 外来生物法!!

生きたままの本種を移動させることは、外来生物法で禁止されています。違反した場合は、個人の場合、懲役 3 年以下もしくは 300 万円以下の罰金が課せられます。

その他の「特定外来生物」や外来生物法について知りたい方は、  
環境省ホームページ **「外来生物法」** をご覧ください。

<http://www.env.go.jp/nature/intro/>